

知りたい情報がここにある

広報おうむ

9
2014
September
Vol.997

今、伝えたい
「記憶」がある。



特集

先駆者たちノ 記憶ー。

緊急開拓事業から始まった

昭和20年の戦後開拓時代。

劣悪な立地条件の中、

寒地農業確立のために

海外からの引き揚げ者などが

入植する時代だった。

しかし、冷害などの試練の中で

離農する者たちが続出。

それでも残された者たちは

勇躍開墾のくわを入れ、

血のにじむ努力で

未来へと農を引き継いでいったー。

戦後開拓から現代の農業事情について

2カ月にわたって特集します。



清水組

初期の戦後開拓を彩るものに代行開拓制度があった。これは開拓を迅速に進める一つの方法として考えられたもので、開発営団や農業会、土建会社などに原野の開墾を請け負わせ、トラクターなどを使用して効率的に進めようというものだった。雄武町では清水組が代行機関として雄武出張所を設置。幌内・音稲府・御多込薬の各地区においてトラクターを使用し機械開墾を行っていた。

雄武町の開拓の起源である戦前。入植者たちは寒冷な気候と水はけの悪い酸性の重粘土に幾度となく挫折を強いられた。ここに、当時「不毛」だとされた大地の「不毛」とも言える大開拓が進められていった。

田口 源太郎

雄武町の開拓史上、常に名をはせてきた伝説化される人物。漁業の傍ら小商いを営み、アキアジの大豊漁で事業者の道を急速に進んだ。農場経営、牧場経営、道議会議員として才覚を発揮。

不毛だった 戦前開拓

開拓の幕開け

この地で本格的に農業開拓が始まるのは、明治30年代半ばのことだった。明治19年、北海道庁設立とともに植民地撰定事業が開始され、明治34年には雄武の原野が明らかになった。原野の区画測量や貸し付けが実施され、同年には、川本半次郎の土地に斎藤寅市が入植。各地に入植者が足を踏み入れるようになり、開拓の歴史が幕を開けていった。

伝説の田口農場

その後、雄武原野の大規模を占有することとなったのは、田口源太郎と苦米地元次郎の両名だった。このうち田口は、明治36年に大規模農場を開業。雄武原野の五〇〇兆歩の地積に富山県から団結移住して来た小作人を配し、明治37年から事業に着手。農業専門技師の最新技術の実践指導による農場経営手法が取り入れられていた。開拓史上、田口源太郎は伝説化され、その功績は現代に語り継がれている。

不毛だった戦前開拓

しかし、田口農場の経営はそう長くは続かなかった。田口農場は大正6年に、約14年間という短命な経営の最期を迎えた。なぜ経営の最期を迎えてしまうことになったのか。その答えは、本町の寒冷な気候、そして水はけの悪い重粘土の土壌が原因であった。さまざまな試験的な営農が進められていったが、雄武町の不毛な広漠とも言える原野は入植者たちの定住を拒み続けたのだった。

明治30年、「北海道国有未開地処分法」が制定され、国有未開地の私有地化が進められていった。未開拓地無償払い下げ制度の許可を受けた父喜三郎さんは、沢木ヲニシへ自力入植。開拓の猶予は五年間。毎年、土地に検査が入り、最終的に、半分以上の耕地に成功しなければ、土地は無償払い下げされなかった。事前に補助や助成がある訳でなく、不安を抱えながら、自前でくわや鎌を用意。日光も通さぬ繁茂を見せる巨大な赤ダモの密林の中を入植者たちはひたすらに突き進み、笹原に火をつけ、丸くわで筋切りをして、裸麦をまいた。一日が終わる頃、掘立小屋に三郎さんの姿があった。薄暗いカンテラの光の中に明日への希望を見いだしながら、一夜を過ごしていた。

【参考 渡辺三郎自伝 吾が生涯の歩み】



(資料提供：渡辺和基さん)



渡辺 三郎さん
(1894 ~ 1992)

吾が生涯の歩み

昭和五十二年八月
(八十三号)

開拓の原動力

時は戦前、人々は馬の力で大地を切り開こうとしていた。馬産奨励、馬種改良が行われながら、先駆者たちのたゆまざる努力で開拓が推進されていった。農耕馬として、戦時中は軍馬として姿を変えながら、馬は黙々と人のために働いたのであった。先駆者たちは農業の基礎を築き上げるため、馬と苦楽を共にした。馬は家族の一員として、たくさんの愛情が注がれていた。こうして、開拓の原動力として力を発揮していた大正から昭和にかけて、雄武は馬産地として目覚ましい発展を遂げてきたのだ。一方、大正14年、北海道庁が畜牛増殖計画を公表していた。当時、この公表を皮切りに、雄武でも馬から牛への転換が叫ばれるようになっていた。この計画を背景として、畜牛購入資金の貸し付けが行われ（雄武村農会）、畜牛購入促進が図られた。しかし、馬を愛していた農民たちにとって、馬から乳牛への急速な転換には、強い抵抗が多かった。40頭の購入枠のうち、実際の購入頭数は25頭。当時、村内で飼育されていた一頭の種雄牛だけが、後の酪農の訪れを予期していた。

「食」と「職」

昭和28年から5年間に、雄武町を激しい冷害凶作が襲った。天候不順と重粘土地帯が災いし、開拓者たちの自給自足的な畑作生活は大きな被害を受けた。この冷害を機に、見る見るうちに人の「食」と「職」は変わりゆく姿を見せた。現代は「飽食の時代」と呼ばれ、ごく当たり前のように食生活を営む人々が多いなか、当時は私たちが到底想像もつかないような惨状だった。中心的な主食は、皮肉にも主食「代替」作物。麦類、豆類、雑穀、ジャガイモというものがほとんどで、戦後開拓の時代にいたっては、今のように白い米に恵まれることはなかった。食糧が完全に底をつき、ジャガイモの汁やみそ汁でなく

塩汁を飲む人々。必ず吐くのに関わらず、赤カビ病にやられた小麦を食べる人々。飢えに泣くわが子を抱え、にんじんを果物代わりに与えた。母乳が止まり、代用に小麦粉をしゃぶらせる母の姿もあった。死が目前に迫る中で、その日その日を生き抜くのがやっとの時代だった。この冷害と食糧危機を背景に、次第に農業者たちは「生活の安定」を悲願するようになっていくのであった。

酪農への転機

戦後開拓者の1人、高見秀雄氏（故人）は「開拓地は先人たちが不毛な地として全く開拓されず、軍馬などの放牧地として使用された程度で、全く未開の地であり、私たちが畑を開き、畑の作付けを行えば行う程借金が増えた」と当時を語っている。（開拓農協開拓収束記念誌「拓魂」から）

なぜ、借金が増えるのにも関わらず、開拓者たちは先駆者の道を選んだのか。なぜ、あえて苦しい道を選んだのか。それは自らの「生活の向上」が理由だった。「出取りになった方がよっぽど楽だとも思うが、それでは二度と百姓に戻れなくなってしまう。どんなに苦しくともこの土地で頑張りたい」。苦しみながらも営農意欲を燃やしている者の声（雄武町百年史から）。どん底の生活からはいあるため、先の見えぬ未来に光を見いだしながら、希望を抱きながらこの地を開墾していった。

昭和23年、寒冷地対策として日本全国で最初の大事業といわれた町営酪農事業の実施をきっかけに、酪農経営路線へと転換するようになっていった。馬から牛へと変わりゆく農業事情を背景に、次第に開拓者たちの馬に対する飼養意欲も減退していった。戦後の昭和30年代後半以降にいたっては、著しく馬の数は減少していた。終戦に伴う軍馬需要の衰退、そして、トラクターや自動耕転機などの普及も原因となっていた。農業の世界に「機械化」という概念が取り入れられることで、馬は昔日の面影を失っていった。

馬から牛へ

そして時代は酪農経営へ移行

馬2頭からの開拓 大水 徳光さん（豊丘）

「今日の命の保証のない生活だった」。戦前、根室で炭鉱業務に従事した当時を振り返る。終戦後、炭鉱から人が姿を消し、屯田兵の父と兄、馬2頭を引き連れ雄武に。購入した雄武の25町の土地を耕作した。当時、豊丘地区で「2頭プラウ引き」という概念はなく、すぐに13町の土地を起こすと周囲から驚愕を浴びたという。ササを刈り、焼いて、麦や豆をまくも夏でも寒い気候に頭を悩ませた。雨が降ると、土が硬くて水が流れず自分が食べるための作物が育たない。「食べ物芋が主食だった」。苦しい生活環境の中で「雄武の築港も掘ったさ。トロッコに砂利を積んでコンベヤーであげてやった。食わなきゃ駄目な時代だ」と職を選ぶ余裕がなかったことを訴えた。「内地から来た人は馬の使い方がわからなく苦労していた。そのうち、牛一頭が各農家に配布されるようになった」という。「俺は豊丘では一番牛を飼うのが遅かった。今と違い乳搾りは全部手作業だ。配合飼料はお金がかかるので、草が餌の主流で、乳量もいい牛で8升くらい。馬は毎日の過酷な労働にやせ細ってしまわないために、草だけでなくエンバクも食わせた」。

「馬には世話になった。トラクターや自動車が普及してからもずっと馬を持っていた。絶対に馬を大事にできたんだ」と馬へ懸ける思いを見せる。



馬から牛への転換が図られる中、先駆者たちの多くは、
いまだ確立されない乳牛飼育方式の先行きを案じていた。
その頃、7人の若い入植者たちが青葉に集結。
彼らは20代という若さとずばぬけた発想力で数々の偉業を成し遂げていく。

戦後の開拓と 七人の入植者たち

青葉実験農場を引き継いだ佐々木忠男さん。現在も酪農業に携わる。7人の内、雄武町に残るのは高橋さんと佐々木さんの2人。佐々木さんの農場内には当時のバンカーサイロが歴史的産物となって残存している。この場所は、当時7人が仮小屋で過ごした思い出の場所でもあった。



戦後開拓の幕開け

昭和20年、太平洋戦争が終結した。この戦争は多くの尊い犠牲を伴い、後に生き残る人々の運命をも変えていった。戦後、700万人もの軍隊が解体され、軍人も含めて外地から650万人が引き揚げ、400万人が失業。米の反収が激減する中で、日本は極限の食糧危機の時代を迎えていた。緊急的な対策が必要であると判断した国は、農地改革の一環で「緊急開拓事業」を実施。行く場を失った者たちを帰農させることで、失業対策を図りながら食糧自給化で対応し、食糧増産を狙っていった。敗戦の混乱を緩和する役目を果たしながら、国の施策を背景に、雄武町

でも戦後の開拓が幕を開けていった。
本格的開拓

本町にも被災帰農者などの受け入れ開拓者が増加。幌内北地区に京都からの集団帰農者が第一陣として入植し、先駆者たちによる本格的な開拓が始まった。昭和23年、帰農者の生産指導などを目的に開拓農業協同組合が発足。不毛に終わった戦前開拓の歴史的背景から、戦後開拓に新しい農業の風を吹き込んでいった。開拓農協は投機的な畑作農業から、広大な土地面積を生かした酪農畜産の安定経営への転換を目指していた。しかし、凶作による飼料不足、

乳牛業界への不信など、酪農の発展を阻止する要因はまだまだ多かった。その中、雄武に本格的とも言える酪農への転換が訪れることになった。

青葉実験農場の栄光

昭和36年、雄武町の青葉地区に全国唯一の機械化実験農場が創設された。農林省（現在の農林水産省）が掲げていた既入植者安定営農構想のターゲットに雄武町青葉地区を含む全国5地区がモデル事業に指定され、青葉地区は9年間の営農計画で、酪農経営方針が確立されていった。劣悪な土壌と気象環境を有していた中、いかに酪農を推進していくかが求められた。当時、一戸で飼養される牛

の頭数は多くて5、6頭。青葉実験農場の計画では100頭という巨大な数値が目標に掲げられていた。果敢にも、その実験農場に飛び込んだのが20代の若い*7人の入植者たちだった。当時、7人の代表者だった高橋幾夫さん（青葉）は「国の指定は重圧だった。この先、どうやっていけばいいの不安で、何日も眠れない日々が続いた」と当時を振り返る。高橋さんを含め7人はいずれも東北の出身者。それぞれ十勝と釧路の拓殖場で酪農実習を経て、雄武町に入植した同志。7人はすぐに意気投合し「拓実会」を結成。「同じ拓殖実習場で相通じるものがあった。身寄りがいない俺たちは結束しかなかった」。昭和35年、拓実会の7人は

*高橋幾夫、小野寺主税、水間洋右、太田豊、高橋一二、佐々木忠男、鈴木弘（敬称略）

協力し合い、土地や家畜、資材を「共有」という従来になかった画期的な発想を取り入れることを決議。そうして、農林省と7人の構想が重なり合い、昭和36年、「開拓地大規模機械化実験農場」が実現した。当時、自分の生活に精いっぱいだったといえる小規模な酪農家が散在する中、共同経営という全く新しい手法が初めてこの地に打ち出された歴史的瞬間だった。また、資材だけでなく、負債も共同化。作業能率向上のため、各戸持ち回りで子どもを預けるという託児方式を採用。「たとえ家内が病気になるたとしても、預けている間に休養できる。当時はそうしなければならなかった」。設備にも革新的な

処方が施された。3カ年計画で、道内唯一のバンカーサイロを導入。サイロとは家畜の飼料を収蔵するいわば倉庫。塔の形やビニールシートなどで密閉されるサイロなどはよく知られるが、ここでは道内初の「納屋式」サイロが導入されていた。高橋さんは「日本で最初に導入した。画期的だったのは牛を自由にさせて、餌を食べさせることができたこと」とルーズハウジング方式導入の快挙を語った。また、パイプラインミルクが導入されていたが、これの導入も日本初の快挙だった可能性が高い。当時の情報がままならないが、農林水産省作成の平成22年度食料・農業・農村白書と、平成17年版「新たな家

畜改良増殖目標のポイント」によれば、昭和40年代に入り、パイプラインミルクの技術が普及したとある。昭和37年10月に発行された「雄武町の歴史」には、既にパイプラインミルク導入当時の写真掲載があり、このことから当時の実験農場がどれだけの画期的なものだったのか想像がつく。農場の経営は5カ年計画で黒字化に成功し、当初の目標を達成。昭和39年には、北海道知事の町村金五氏も来町。連日、視察訪問に訪れる酪農家や関係者が後を絶たなかったという。7人はまさに先駆者として酪農者たちの灯台の光のような存在となり、営農路線を先導する者として異彩を放っていた。計画も終了

する頃には牛の数も約180頭に及び、軌道に乗り始めていた。しかし、高橋さんは計画終了後、すぐに農場解散を決断。「これからの時代は、この規模なら一人でやる時代が来ると確信した」。高橋さんは予言のようなものを感じたという。それはまさに先駆者だけが感じる事ができた、現在の大規模化経営の予感だったのかもしれない。革命的で偉大な功績を残した青葉実験農場。高度経済成長期で都市部に人口が流れる中、国は入植者たちに補助金を交付し酪農を推進するようになっていった。国策で開拓者増大を図り、酪農者を排出しながら戦後開拓時代は栄光の幕を閉じていくのであった。



雄武に来た日は一生忘れない

高橋 幾夫さん（青葉）

水田農家育ちだったが、北海道のより広大な大地を求め、昭和31年に入植。1年間、十勝拓殖場で酪農研究をし、営農設計プランを掲げ来町。「俺の戦いは井戸を掘ることから始まった」。まず手始めに水を確保する必要があったため、スコップとつるはしを使い井戸を構築。入植者たちの補助住宅は建設に約1年を要するので、仮小屋を建築。材料はササと焼けた木。電気はなくランプの生活を送った。仮小屋ができるまでは住む場所がなく、集落の人に頭を下げて宿泊場所を確保した。「畜産を頭に描いて雄武にきたらここは畑作だった。牛は多くて5、6頭。でもそれが当たり前の時代だった」。今のような大規模経営など当時の人には想像もつかなかったはずだ。国の指定を受ける重圧の中、ひたむきに開墾した先駆者。青葉実験農場を振り返り「言葉にならない」と話した。



菅野 幸子 さん

(上雄武)

昭和8年生まれ。戦後開拓時代を歌とともに生き抜き、58年にわたり乳牛の世話を続けてきた。「乳牛の里」雄武町に今も変わらず思いを寄せている。



菅野祥子歌集「乳牛の里」

A5版 150ページ
寒い朝に搾乳に向かう時の心境や、子牛が生まれたときの瞬間の喜びなどが370の短歌にまとめられている。
(町図書館所蔵)



当時の一冊のノート。
菅野さんの思いが書きつづられている。

開拓と歌

明暗を超えて、生き継いだ当時の人々たち。そんな当時の人々に心のオアシスは存在していたのだろうか。殺風景のひとつとき、せめてもの思いで歌を詠むものがいた。やがて一冊に紡ぎだした言葉の一つひとつが人々の心を動かすようになっていった。

酪農業との出会い

昭和31年、菅野末藏さん(故人)に嫁いだ幸子さん。当時、搾乳は手作業で行う必要があった。「慣れるまで大変でした。真っすぐバケツに乳が入っていかないんだから」。吹雪の中、馬ソリで現在の市街地区付近を目指すことも少なくなかった。劣悪な環境下で、奮闘する菅野さんの姿がそこにあった。

「冬なんかは造材のために山にいったね。そういうところにご飯炊きにいったから。そういうことをやらなきゃいけなかったんだよ。吹雪になっても、川まで水をくみにいってお米を研いだりしなきゃならん時代だったのよ」。

短歌との出会い

川の流れとともにときは流れ、ある一人の人物と巡り合った。豊丘小の校長だった、愛州松次郎氏。「短歌の先生でもありました。先生に目をかけていただけで、短歌を始めることになりました。でも表現が難しく、一度、短歌の世界を離れたんです。でも、書きとどめていた一冊のノートだけは捨てることができませんでした」。短歌の世界から身を引いて、空虚な日々の幾とせを過ごしていた。そんなとき電話の受話器が音を立てた。「今までの長い足跡を無にしたいはもったいないですよ。スタートラインに戻って一緒に勉強しましょう」。短歌にいそしんでいた時代、師匠だった高田道子さんからの突然の連絡だった。短歌雑誌「樹樹(きぎ)」への投稿の薦めだった。懐かしさとうれしさで気付けば声が弾んでいた。もうそこに、迷いはなかった。そうして、幸子さんの言葉たちは脚光を浴びるようになっていくのだった。

せめてもの、心の和みが歌でした。

紡ぎ出す言葉たち

「チラシだとか、新聞の片隅だとか、そこらへんの紙くずでもいいんだ。ぱっと思い出したときに書く。でもいざ書き出すと書けないもの。農作業が忙しいから毎月の締め切りも大変だったね」。アイデアは突如浮かんできた。平たんならぬ日々の苦勞や牛への愛情が幸子さんの頭の中で31文字に変換され、酪農人生をテーマとした作品が数々生み出されていった。「昔、国の生産調整があつてね、余った牛乳に食紅をつけて捨てたの。誰かに悪用されないために。余った牛乳はどうすることもできなくて集落のみんなで捨てた。国の政策に、世情に踊らされるるやるせなさがありました。子牛が生まれたときは随分うれしかったものだよ。当時は子牛が亡くなることも少なくなかったから」。

『乳牛の命哀しみ空どこに一輪の花たむけ供ふる』。牛へのせめてもの供養の花を心の中に咲かせながら、菅野さんは空を眺めていたという。仕事が終わると、いつも食卓で日々の思いを歌にし

てきた。「仕事以外で楽しめることといえば、歌だけ。だってね、自分しか相手になるのがいなかったんだよ。ただ私は自分の思いをノートでもなんでも書きためていっただけなの」。

心を動かす言葉たち

樹樹に投稿を始め約3年がたったころ、自費出版の話が転がりこんできた。歌集を出版することなど想像もつかなかった菅野さんだったが、師匠の高田さんの全面的なサポートを受け、ついに平成18年、歌集「乳牛の里」が世に出されることになった。出版後、菅野さんを待っていたのは、とてもない大反響だった。町内の酪農家からは多数の共感の声が上ががり、町外からも購入を希望する声が続々と。菅野さんは、発行された全400部の歌集のうち、約半数を無料で配布。そこには、お金では買えない菅野さんの真心が込められていた。たくさんあった在庫は見る見るうちに姿を消し、今手元に在庫はないという。菅野さんは「誰

かに見てほしいという訳で書いたのではなかったの、すぐくうれしかった」と当時を振り返る。今年4月、菅野牧場からは親牛がいなくなり、今は生活の中で感じた気持ちを歌に執筆中。「今はめったに出さなくなったけど、これから投稿したいとも言い切れないですね」と少し恥ずかしそうに、笑顔を輝かせた。

日本手拭いとともに

酪農を始めた当初から、肌身離さず愛用してきた品がある。「日本手拭い」。昔から手拭いは、日本人の生活のごく身近に存在するものとして、時には女性が身を飾るための装飾品として愛好されてきた。「ビツと巻くとやっぱり気持ち引き締まるもね。朝起きてから一番初めにすることは手拭いを頭に巻くことだよ。気付けば自然とそこにいつてしまうね」。作業者をしやすいようにいつていたものだったが、気付けばいつでも手放せない唯一無二の存在に。外出するときには、柄の入ったお気に入りの手拭いでとっておきのおしゃれをするそう。開拓時代を生き抜いてきた菅野さんの象徴である「日本手拭い」。今も当時の面影を残しながら変わらず優しく菅野さんを包み込んでいく。

気品見する白百合の花

乳牛の里引き立てて 牛を守りぬ



遠藤ハルエさん
1913 - 2009

(写真提供：遠藤悦朗さん)

農業女子 愛の軌跡

昭和55年3月号広報「おうむ」に掲載された農業体験文「サイロに立つ」。そこには、家族で歩んできた苦難の軌跡や母の愛、息子への思いがつつられていた。家族愛が巻き起こす「感動」の物語。※体験文の一部を要約して掲載しています。

女手一つで育てられる

大正2年、秋田県の水田農家生まれ。幼くして父を亡くしたハルエさんは、母とともにここ雄武町に渡道し農業に携わっていました。昭和9年には遠藤家に嫁ぎ、11人の大家族と暮らすことになったハルエさんにとって、生活のすべてが想像を絶することばかりでした。

畑作農家

今こそ、雄武町は酪農地帯になりましたが、当時は自給自足的な「畑作」を営む農家は少なくありませんでした。遠藤家はジャガイモを生産し、どんぶり工場を営みました。人手による作業がほとんどで、秋の収穫期になると就寝時間はほとんどありませんでした。仕事の合間に家事もしなければならず、休む暇もない過酷な労働状況に明け暮れました。大家族にもなかなかなじみず、頭を悩ませる日々が続いていきました。

夫の愛情

嫁としての存在ではなく、労働力の提供者として夫の両親から厳しい指導を受ける毎日。何度、実家に帰ることを試みたことでしょうか。夫の愛情だけが心の支えだったのです。漆黒の夜道、二人で野良を帰るとき、何も言わず肩からくわを取りかっいでくれる夫。そんな温かみのある夫の背中に自然とひかれていくのでした。

終戦

夫は、終日黙々と働きました。でんぶんの経営は安定し軌道に乗っていきます。終戦により、姑の親せきが次々と樺太から引き揚げ、家族は膨大に膨れ上がりました。大きな不安を抱えながら、切り盛りをするハルエさんの姿がありました。その頃、夫は経営を支配する立場となっていました。寒冷な気候の中での畑作営農に見切りを感じていた遠藤家は、昭和21年、酪農と畑作の混合営農をスタートさせるのです。ハルエさんにとって、より多忙な生活が待ち構えていました。

はかない命

農作業の合間を縫って姑の看病をする必要もありました。ハルエさんが家族を思わない日はなかったのです。そんな中、昭和24年頃には、混合営農が安定し、収入も安定したことから夫が出稼ぎに出る必要がなくなりました。これで、ずっと夫がそばにいてくれるようになりなりました。ハルエさんにとっても、子どもたちにとっても、それはどれだけかけがえのないことだったのでしょうか。でも、そんな幸せは長くは続きませんでした。昭和24年2月25日、心臓まひが原因で46歳の若さでこの世を去ってしまっただのです。縫い物をするハルエさんに「お前にはなんにも買ってやれなかった」とささやいた夫。姑との間に立って静かに見守ってくれていた夫。もう、ハルエさんには届かぬ世界の人となってしまいました。けれどもどんな不幸が起

きても、ハルエさんは決して挫折することはなかったのです。ハルエさんには本家としての責任がありました。

息子の進学

昭和31年、長男の悦朗さんが中学を卒業し、高校進学を希望しましたが、祖父がそれを許しませんでした。それは当時の経済事情が理由だったのです。ハルエさんは、昔の自分を思い出しました。勉強しなかったけどできなかった悔しい過去を息子にさせたくない一心で、反対を押し切ってまで進学させたのです。

描いた夢

悦朗さんが無事3年で高校を卒業し、酪農を継ぐことになりました。ハルエさんは、悦朗さんが結婚してしっかり者の嫁が来てくれたことに喜んでいました。これで安心して経営を息子へと渡すことができるようになりました。ここまで来るのにさまざまな軌跡がありました。楽しかったこと、悲しかったこと、苦しかったこと。月日がたち3人の孫が生まれ、ハルエさんは安堵感を抱いていました。亡くなった夫が生前描いた夢を長男夫婦が目の前で実現させていました。ハルエさんは心の中で夫に語りかけました。「お父さんの理想が、今ようやく実現しつつあるですよ。子供たちの中に、お父さんが生きていますよ。お父さん、ありがとう」。母が注いだ愛情は、悦朗さんの中で今も生き続けているのです。

母が私の「道しるべ」でした 遠藤 悦朗さん (共栄)

母は、まだ畑作が主流のころから、この地域に酪農が推進されることを願っていました。農業の行く末を予期し、私を「酪農」高校に進学させたのも母の強い思い入れがあつたのだと思います。高校卒業後、母は私の帰りを待ち望んでいたにも関わらず、意外にも「自分の人生だから自分で決めろ」という答えが返ってきました。私にとってとても考えさせられる答えでした。私は酪農の道を歩み始めることを決めました。あの言葉がなかったら私は酪農という大地に立っていなかったかもしれません。母はいつも笑顔でほがらかで、それでいて、自分の意志を貫き通す人でした。そんな母が私の道しるべでした。平成10年、おうむ農協の代表理事組合長に推挙され、初出勤する朝に「悦朗ちゃんこい」と言われ、「己を小さく、人を大きくするんだぞ」と告げられました。今も忘れられない母との思い出のエピソードです。



※現代の酪農事情は引き続き10月号で紹介いたします

第5次雄武町行政改革大綱

平成25年度進捗状況

町では、平成22年3月に策定した「第5次雄武町行政改革大綱」に基づき、全庁的な体制で行政改革を推進しています。この度、平成25年度の進捗状況について取りまとめましたので、その内容についてお知らせします。

総務課庶務係

1 計画期間

平成22年度から26年度（5年間）

2 具体的推進項目

32項目（うち3項目については、平成23年度・24年度で完了）

3 進捗状況

- 実施（◎）25項目（86・2%）
- 調査・検討・実施（△◎）1項目（3・45%）
- 調査・検討（△）2項目（6・9%）
- 方針決定（○）0項目（0%）
- 未実施（×）1項目（3・45%）

4 達成度

- 目標を上回る成果を達成することができた（★★★★★）1項目（3・45%）
- 目標どおり達成することができた（★★★★★）16項目（55・17%）
- 目標に対し、おおむね達成することができた（★★★★★）6項目（20・69%）
- 目標に対し、あまり達成できなかった（★★★）5項目（17・24%）
- 目標に対し、ほとんど達成できなかった（★★）0項目（0%）
- 目標に対し、全く達成できなかった（○）1項目（3・45%）

5 推進状況

1項目（3・45%）

- 計画以上 1項目（3・45%）
- 計画どおり 21項目（72・41%）
- 計画以下 7項目（24・14%）

6 推進項目別進捗状況

- 1 町民との連携と協働
 - 情報共有の推進（◎）（★★★★★）
 - 情報提供機能の充実（◎）（★★★★★）
 - 職員の出前講座推進（◎）（★★★）
 - 町民参画の推進（◎）（★★★）
 - 委員公募制度の推進（◎）（★★★）
 - 新規政策事業の公募制度の導入（◎）（★★★★★）
 - 町民意向調査の実施（◎）（★★★★★）
 - パブリックコメント制度の導入（◎）（★★★★★）
 - 自治基本条例（仮称）制定の調査・検討（×）（○）
- 2 行政経営システムの見直し
 - 事務事業の整理合理化（◎）（★★★★★）
 - 行政評価制度の拡充（◎）（★★★★★）
- 3 自主性・自律性の高い財政運営
 - 中期的視点に立った財政運営（◎）（★★★★★）
 - 予算編成枠配分方式の推進（◎）（★★★★★）
 - 町債発行の抑制と軽減（◎）（★★★★★）
 - 財政計画の見直し（◎）（★★★★★）
 - 行政経費の節減（◎）（★★★★★）
 - 経常的経費等の節減（◎）（★★★★★）
 - 公共施設の維持管理費の節減（◎）（★★★★★）
- 4 職員の資質向上と人材育成
 - 職員の意識改革と人材育成（◎）（★★★★★）
 - 職員研修の充実（◎）（★★★★★）
 - 職員提案制度活用（◎）（★★★★★）
 - 職員の危機管理意識の向上（◎）（★★★★★）
 - 職員の資質向上に資する人事制度・勤労実績に応じた昇給制度等の導入（△）（★★★★★）
- 5 歳入の確保
 - 町税等の徴収率の向上（◎）（★★★★★）
 - 公共施設使用料の見直し（△）（★★★★★）

新秋を迎える頃となり、野山へ出掛けることが多くなる季節になりました。山菜採りなど楽しみにされている方も多いと思いますが、北海道の野山は「ヒグマの領分」でもあります。ヒトとヒグマ、双方にとって不幸な事故を未然に防ぐため、次のことに注意しましょう。特にヒグマと遭遇しないようにすることが大切です。

ヒトとヒグマに注意



ヒグマに遭遇しないために

- ヒグマの出没情報については、警察や役場に問い合わせ、確認してください。事前に情報を得たヒグマの出没箇所や、ヒグマの出没を知らせる看板がある場所への立ち入りは避けましょう。特にイヌを連れての立ち入りは、ヒグマを異常に興奮させることがあり危険です。
- ヒグマの出没が予想される山林での単独行動は、人とヒグマの双方で気付くのが遅れ、危険な状況になる場合があります。集団での行動に心掛けるほか、鈴の携行、見通しの悪い場所などでは笛を吹く

など、ヒトの存在を早めにヒグマに知らせる工夫をしましょう。特に濃霧や降雨時には注意が必要です。1日のうちでも、早朝や夕方にヒグマと遭遇する機会が増えますので、その時間帯の行動には細心の注意が必要です。

ヒグマの出没が予想される山野での飲食で、においの強いものはヒグマを引き寄せる場合がありますので、控えたほうがよいでしょう。また、飲食後の残飯や空き缶などのゴミをそのあたりに捨てたり、埋めたりしてはいけません。危険なクマを作らないため、残飯、空

き缶などのゴミは必ず持ち帰りましょう。これは、山野に入るときに当然のマナーです。

ヒグマに遭遇したら

- あわてることは事故につながります。落ち着いて状況判断をしましょう。特に走って逃げたりすると追いかけてくるので危険です。ヒグマがこちらに気付いていないようであれば、静かに立ち去りましょう。また、距離が近い場合は、視線をそらすずゆっくりと後退してください。
- 子グマに遭遇した場合は、母グマ

が近くにいるケースが多々あります。母グマは神経質ですので、驚かさないうすみややかにその場から離れてください。ヒグマに、ザックなど持ち物を取られたときは、あきらめましょう。

※野生のヒグマとの遭遇はいろいろなケースがあり、これで絶対安全という対処方法はありません。山に出掛ける際には細心の注意をお願いします。なお、山野にてヒグマに遭遇したり、足跡などの痕跡を見つけた場合は情報を提供してください。

関連業振興課林務係



まちのできごと

8/7 小学生と保育所園児との交流会 心が通う豊かな交流

日頃から児童センターを利用する雄武小の児童6人が若草保育所を訪問。年長の園児たちと仲良く遊びながら交流しました。対面式ではお互いに緊張した様子を見せていましたが、「しっぽ取りゲーム」などで交流を楽しみ、次第に打ち解け合うように。小学生が先頭に立ちゲームを進行したり、園児たちが率先して小学生を遊びに誘ったりしながら、お互いに心を通わせていました。



↑手をつないで楽しく交流する園児と小学生

↓原爆の写真を眺める来場者



8/9 原爆写真展 忘れてはならない悲惨な記憶

8月9日から2日間、地域交流センターで原爆写真展が開かれました。戦争の悲惨さを後世に伝えようと町原爆写真展実行委員会(福原峯雄委員長)が主催。広島と長崎の惨状を訴える写真30点が展示され、親子連れなど多くの来場者が残酷な史実を目の当たりにしました。大規模反核デモが記憶に新しい台湾から来日した李美枝さんは「二度とこのような惨事が起こらないでほしい。世界平和を望んでいます」と話していました。

↓パフォーマンスに引き込まれる子供たち



8/2 絵本読み聞かせ&ライブペインティング 子供たちとの思い出描く

人気絵本作家「よしながこうたく」さんによる講演会が図書館で開催され、代表作「給食番長」などの読み聞かせやライブペイントが実演されました。よしながさんは、絵の具だけを使う独特な作風で描画パフォーマンスを披露。観客を絵本の世界に引き込みながら、世界に1つだけの絵を完成させました。「へんてこな絵だなあ」と冗談を言うと子供たちはにっこり。思い出の作品は図書館に展示されています。

8/15 ふるさと夏祭り盆踊り大会 華やかな舞で夏を彩る

ふるさと夏祭り盆踊り大会(大通り商店街協同組合主催)がサンパロット広場で開催され、約300人が来場。屋台や太鼓の音色を楽しみました。昨年、15年ぶりに「大人仮装盆踊り」が復活し、今年は、団体の部7チーム、個人の部4人の踊り手が出場。趣向を凝らせた衣装で観客を楽しませました。団体の部では、高橋信一さん率いる「じーじとばーばの宝塚」チームが優勝。華やかな舞で夏のひと時を彩っていました。



↑やぐらを回る踊り手たち

↓北照高相手に力投を見せる雄武高の小田投手



7/29 サンライズベースボールカーニバル 強豪校相手に善戦

高校野球を通じ技術水準の向上を図る「サンライズベースボールカーニバル」が29日から3日間、農村広場で開催。今年は甲子園常連校の北照高校をはじめとする全5校が参加し、白熱した交流試合を展開。初日、雄武と北照高校が対戦し、観客約70人が力強いプレーに熱い声援を送りました。雄武高投手の小田大貴さんは「全力を尽くしたけど負けてしまい悔しい。この経験を糧に頑張っていきたい」と静かな闘志を燃やしていました。

8/4 交流施設「のびのび雄遊ランド」オープン 娯楽の力で、輝く笑顔

旧茂手木金物店を利用した交流施設「のびのび雄遊ランド」(町商工会事業)が華やかにオープン。初日には、対象となる60歳以上の町民が多数訪れ、任天堂の最新ゲーム機「Wii U」などに夢中になっていました。旭町の小野寺つねよさん(77歳)は「高齢者は家にこもりがちだからこの施設はとていいと思います。ゲームも試したら楽しくて、何度も来てしまいたい」と満面の笑みを見せていました。



↑無料ゲームで交流を深める来場者

↓まぶしい笑顔を見せる子どもたち



7/29 夏季「オムイ塾」 夏だ!プールだ!大はしゃぎ!

7月28日から4日間、小学生を対象とした夏季「オムイ塾」が開催されました。夏休み中の学習支援などを目的に雄武小で実施される本事業(町教委共催)。午前中は地域ボランティアの支援を受けながら学習に取り組み、午後からは先生に水泳を教わりました。子どもたちは水しぶきを浴びながら、歓声を上げて大はしゃぎ。最高気温が29度を超えるなか、太陽にも負けないまぶしい笑顔を輝かせていました。

年金

国民年金の任意加入制度

老齢基礎年金は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付済み期間が40年に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に任意加入して保険料を納めることにより、満額に近づけることができます。

なお、老齢基礎年金を受け取るためには、保険料の納付済み期間や保険料の免除期間などが原則として25年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができます。(ただし、昭和40年4月1日以前に生まれた人に限る)

また、海外に在住する日本国籍を持つ人も、任意加入することができます。

国民年金生活課戸籍住民係
 岡北見年金事務所
 ☎0157・33・6607

国民年金保険料の追納

国民年金保険料の免除、若年者納付猶予、学生納付特例の承認期間がある場合、保険料の全額納付者になります。

べ老齢基礎年金の受給額が少なくなります。そこで、これらの期間の保険料は、将来受給する老齢基礎年金を増額するために、10年以内であればさかのぼって納める(追納)ことができます。

ただし、免除などの承認期間の翌年度から起算し、3年度目以降の追納の場合は当時の保険料額に一定の加算額が上乗せされます。

注意事項

- 一部免除を受けた期間は、残りの納付すべき保険料が納付されていないければ追納はできません。
- 「若年者納付猶予・学生納付特例期間」が「法定免除・申請免除期間」より古い(先に経過した)月分である場合は、「若年者納付猶予・学生納付特例期間」が優先します。
- 「法定免除・申請免除期間」が「若年者納付猶予・学生納付特例期間」より先に経過した月分である場合は、どちらを優先して納めるか本人が選択できます。
- 「若年者納付猶予・学生納付特例期間」の中では、先に経過した月分から納めることとなります。
- 「法定免除・申請免除期間」の中では、先に経過した月分から納めることとなります。

追納の申し込み 北見年金事務所
 岡北見年金事務所
 ☎0157・33・6607



社会福祉

国民健康保険被保険者証の更新

現在、雄武町国民健康保険加入者の被保険者証の有効期限は9月30日までとなっているため、10月1日から引き続き使用できるように被保険者証の更新を行います。なお、国民健康保険の被保険者であった人で、現在、ほかの医療保険加入者や世帯被保険者に異動があった場合は、すみやかに届け出をください。

更新期間 9月16日(火)～30日(火)
更新場所 保健福祉課保険給付係

必要書類

- 現在使用中の被保険者証
- 修学により転出した学生の被保険者証を更新する場合は、印鑑と在学証明書(本年度入学で、提出済みの人は不要)。

各種医療費受給者証の更新

町では、乳幼児等医療費受給者証・重度心身障害者医療費受給者証・ひとり親家庭等医療費受給者証の更新手続きを、毎年9月に行っています。これまで、申請書を提出したことがある人については申請書の提出は不要です。世帯の課税状況などの審査を行った後、9月下旬に決定内容を個別に通知します。

事前書類提出期限 9月19日(金)
岡保健福祉課保険給付係

住宅

町営住宅入居者募集

▼日の出団地
 (昭和57年建設)



1戸・3LDK

申し込み 役場備え付けの申込用紙に収入がある人の前年分の源泉徴収票または確定申告書の写し、住民記載事項証明書、納税証明書(町外者のみ)を添えて提出してください。

申込期限 9月12日(金)

選考方法 申し込み多数の場合は、住宅困窮度の高い人から決定します。

※町税などに滞納があると入居できません。

別表 (オ、力は就学前の子どもがいる世帯、高齢者・障害者世帯に限る)

政令月収	家賃	
	日の出団地	
ア 0円～104,000円	16,600円	
イ 104,001円～123,000円	19,200円	
ウ 123,001円～139,000円	22,000円	
エ 139,001円～158,000円	24,800円	
オ 158,001円～186,000円	28,300円	
カ 186,001円～214,000円	32,700円	

統計

雄武町基本調査にご協力を

本年10月1日現在での雄武町基本調査を実施します。

この調査は、地域ごとに男女、年齢、産業別の人口の構成などを明らかにして、町の行政に直接役立つ資料を得るために行うものです。

道路の整備やいろいろな福祉行政の実施にあたっては、その地域の状況が分かっていると適切な措置をすることができません。町民に密着した行政を推進するための資料とするもので、課税の資料にするなど個人の利益を侵害することは絶対ありません。

担当調査員が皆さんの世帯を訪れたときは、ご協力をお願いします。
岡総務課情報統計係



募集

国保病院臨時職員(パート)

職種 看護師または准看護師
職種 看護師または准看護師
 (平常勤務 8時30分～17時15分)
応募資格 看護師または准看護師有資格者

採用人数 2人

提出書類 履歴書、看護師免許証

提出期限・採用年月日 随時

面接日 後日お知らせします。

岡国保病院庶務係



子育て

子育て・発達相談

雄武町では、すべての子どもの個性を生かした成長を支えることを目的に、保育所・学校などの集団生活や家庭生活における社会性・コミュニケーションなどの気がかりについて専門相談を実施します。

日時 9月29日(月)～10月1日(水)

会場 役場庁舎別館小会議室または自宅への訪問相談

相談機関 発達障がい者支援道東地域センターきら星(帯広市)

申込期限 9月22日(月)

岡保健福祉課保健係

札幌雄武会総会 「ふれあいの夕べ」のご案内 ～無料送迎バスを運行予定～

雄武町にゆかりのある札幌市と、その近郊に居住する方々との交流や親睦を深める場として、札幌雄武会総会「ふれあいの夕べ」が開催されます。

雄武-札幌間の無料送迎バスを町で運行する予定ですので、この機会にぜひ出席しませんか。なお、宿泊先は申込者にて対応願います。

- 【日時】** 10月25日(土) 18時30分から
 - 【場所】** KKR札幌 5階 丹頂
札幌市中央区北4条西5丁目
 - 【会費】** 1人 6,500円
 - 【申込期限】** 9月26日(金)
- 問 財務企画課企画調整係



↑昨年の様子

保健

9月24日～30日は結核予防週間

現在日本では、毎年約2万人が新たに結核を発症し、欧米に比べ、罹患率の高い重大な感染症です。また、全登録者の半数以上を70歳以上で占めており、紋別保健所管内においても平成25年の新登録患者のうち約8割が70歳以上となっています。

結核は、結核菌によって主に肺に炎症を起こす感染症です。症状は、せき、たん、発熱、倦怠感などの風邪と似ています。「結核かな」と思ったら、医療機関を受診しましょう。また、せきがある人はマスクをつけ、周りの人に感染を広げないように心がけましょう。定期的に健診（胸部レントゲン検査）を受けることも、早期に結核を発見するのに有効です。

こんなときは病院へ

- ・せきが2週間以上続く
- ・たんがでる
- ・急に体重が減る
- ・からだがかたくなる

発見されにくい高齢者の結核

65歳以上の人は、年に1回胸部レントゲン検査を受けましょう。また、健診などで胸部レントゲン検査の精密検査が必要となった場合は、自覚



症状がなくても必ず受診しましょう。せき、たんなど目立った症状があらわれにくいのが、高齢者の結核の特徴です。食欲がない・元気がない・体重が減る・微熱などの症状しか出ない場合がありますので、日頃から健康状態に注意しましょう。紋別保健所健康推進課保健予防係 ☎ 0158・23・3108

9月10日～16日は自殺予防週間

全国で自殺によって亡くなる人は、24年度には15年ぶりに3万人を下回る結果となり、25年度も前年に続き減少し、国全体の取り組みにより少しずつ効果が現れてきています。しかし、交通事故で亡くなった人と比較して約6倍と、以前として大きな社会問題となっています。紋別保健所管内においても、平成10年頃から増加し、毎年20人前後が自殺で亡くなるという現状が続いています。

自殺の原因の多くは「うつ病」など、こころの病気が関係しており、「うつ病」などの早期発見・治療に

催し

「雄武浄化センター」一般開放

日時 9月28日(日) 9時～15時
場所 雄武浄化センター(曙)
その他

当日は、施設の一般開放と同時に、汚泥発酵肥料「おうむ1号」を無料配布します。一人につき最大で土のう袋5袋程度を予定していますが、数量に限りがありますので、品切れの歳はご容赦願います。また、土のう袋については、一人につき一枚用意しますが、

雄武の宝「うまいもんまつり」

このイベントは、「食の宝庫 雄武町」の秋の味覚を楽しんでいただく一大イベントです。恒例の特産品料理や販売、サケのつかみ取りのほか、今年には「雄武クラシックカー・フェスティバル」を同時開催します。

日時 9月28日(日) 9時～13時
場所 メモリアル広場
その他 雨天決行
関NPO法人雄武町観光協会

第8回 雄武の宝
おもうま
Oumu Umainon Festival
雨天決行 2014.9.28 SUN
ふるさと100・メモリアル広場 9:00～13:00
新鮮な魚介類や 広大な大地で育てられた うまいもんが勢揃い!! 鮭のつかみ取りなどの 各種アトラクションも行われます
同時開催 雄武クラシックカー・フェスティバル
Oumu Classic Car Festival
主催:雄武の宝うまいもんまつり実行委員会 お問い合わせ NPO法人雄武町観光協会 (0158-85-7234)

より多くの自殺は予防することができますと言われています。こころの病気を正しく理解し、かけがえない命を守りましょう。

『自殺予防のための行動』3つのポイント(自殺総合対策大綱)

- 気付き 周りの人の悩みに気づき、耳を傾ける
- つなぎ 早めに専門家に相談するよう促す

・ 家族や仲間の変化に敏感になりましょう。じっくりと話を聞く場を持ち、相手の気持ちを尊重し共感しましょう。

● 見守り

温かく寄り添いながら、じっくりと見守る
・ 自然に應對するとともに、身体やこころの健康状態について配慮し、優しく見守りましょう。
・ 必要に応じ、家族と連携をとり、主治医に情報を提供しましょう。
※紋別保健所では、こころの健康を守るために、次のような活動をしています。ぜひご利用ください。

その他

脳検診実施期間中の注意

9月8日(月)～10日(水)14時ごろまで、脳検診実施のため役場庁舎別館玄関前に検診車両が駐車します。通路が大変狭くなることに加え、受診者が検診車両から出入りしますので、車でお越しの際には十分な注意をお願いします。

関保健福祉課保険給付係

9月議会定例会

定例会は、3・6・9・12月の年4回開催され、議案審議のほかに一般質問が行われます。また、9月定例会では、各会計の前年度決算についても審議されます。議会はどなたでも傍聴できます。

開会 9月9日(火) 10時
場所 役場庁舎3階 議場
関議会事務局

預金保険制度

預金保険制度とは、金融機関が預金保険料を預金保険機構に支払い、金融機関が破綻した場合に一定額の預金などを保護するための制度です。制度概要は、金融庁または預金保険機構のホームページをご覧ください

・ 職場、町内会、青年部会などの地域の団体の依頼に応じて、こころの健康に関する講話をしています。派遣にかかる費用は無料です。保健師や専門医が、こころの健康に心配のある人の相談を受けています。本人だけでなく、家族や関係者も利用できますので、気軽に相談ください。

広域紋別病院精神科巡回診療

対象者 こころの健康に関してお困りで医療機関への通院が困難な人
診療日程 毎月第3水曜日 14時～10月15日、11月19日、12月17日、27年1月21日、2月18日、3月18日
診療場所 役場庁舎別館相談室
※3月18日は、会場が地域交流センターになります

予約方法 広域紋別病院へ診療希望日より事前に予約が必要
予約受付 月～金 14時～17時
持参する物 健康保険証、広域紋別病院診察券、自立支援医療(精神通院医療)の受給者証および管理票、他の公費負担受給者票
費用の支払い 診療費は後日自宅に送付される納入通知書により最寄りの金融機関または広域紋別病院会計窓口で支払います。

関広域紋別病院 ☎ 0158・24・3111

い。また、資料の希望者は、財務局北見出張所まで連絡してください。金融庁ホームページ <http://www.fsa.go.jp/policy/payoff/index.html>

預金保険機構ホームページ

関北海道財務局北見出張所 ☎ 0157・24・4167

全国一斉法務局休日相談所開設

法務局が取り扱う登記、戸籍・国籍、供託、人権擁護業務などに関する町民の皆さまの疑問や相談に、法務局職員、人権擁護委員、司法書士および土地家屋調査士がお答えします。相談は無料、秘密は厳守します。

日時 10月5日(日) 10時～15時
場所 旭川地方法務局紋別支局
紋別市花園町2丁目2番4号
※事前予約が必要です。
関旭川地方法務局紋別支局総務係 ☎ 0158・23・2521

法務局無料講座の開催

日時 10月5日(日) 13時30分～15時
場所 旭川地方法務局紋別支局
紋別市花園町2丁目2番4号
テーマ 「まるっと知って情報・相続登記手続き方法説明します」
定員 20人(応募順で定員になり次第締め切ります)
関旭川地方法務局紋別支局総務係 ☎ 0158・23・2521

なるほど! 暮らしの法律相談 【第29回】

ご自分の財産を、死後子孫に残してあげたいと思うのが人情です。しかし、その財産を巡って争いになることもしばしばです。そうした争いを防止するため、遺言書を残しておくことは有効ですが、今回は、その遺言についてのお話です。

遺言書は、大きく自筆証書遺言と公正証書遺言に分かれます。

自筆証書遺言とは、文字通り自分で書いた遺言のことです。遺言者が遺言書の内容の全文、日付、氏名を自筆で書き、これに押印することによって作成する遺言書です。自筆証書遺言は、公正証書遺言と異なり、公証人に依頼する手数料がかからず、また証人の立会いも必要なく、手軽に作成できるという点で便利です。しかし、その反面、自分で作成することから、法律で定める遺言の方式を間違え



脇島 正 弁護士

ると無効になってしまう危険があります。たとえば、手が不自由で書けないからと他人が代筆した場合、無効となってしまう。また、公の役所で保管するわけではないので、遺言書を偽造、変造される危険もあります。

一方、公正証書遺言とは、公証人役場で作成する遺言です。公正証書遺言を作成するためには、証人2人が必要で、また公証人に作成手数料を支払う必要がありますが、法律の専門家の公証人が作成するため、遺言方式を間違える心配もなく、また遺言書が公証人役場に保管されることから、偽造、変造のおそれもありません。

では、被相続人がお亡くなりになり、その方の遺言書を発見した場合、どうすればいいのでしょうか？

相続人を集め、弁護士がやってきて、皆の前で封を開ける、というのはテレビでの話で、実際には、裁判所に検認の手続きを申し立て、裁判所で開封しなければなりません。検認の手続きを怠った場合、5万円以下の過料に処せられることになっていきますので、ご注意ください。

無料法律相談会 (事前予約制) ☎ 0158-26-2277 © 10月7日(火)・11月4日(火) 13時~16時 地域交流センター2階会議室

地域包括
支援センター
だより

高齢者の権利を守りましょう!

投資、貴金属、法外な価格を提示するような訪問販売など、ことば巧みに話をもちかけ資金をだましとるトラブルを耳にすることはありませんか。

このようなトラブルに巻き込まれることや適切にお金を使うことが困難になると、老後の経済・生活基盤に大きく影響を及ぼす可能性があります。



お金の管理に不安のある方、先々の老後に不安のある方を支援する事業や制度に、日常生活自立支援事業や成年後見制度があります。これらの事業や制度は、日常の生活上の消費契約や各種行政手続き、預貯金などの金銭管理のお手伝いをするものです。

事業や制度の活用希望やご相談がございましたら下記までご連絡ください。

地域包括支援センター (庁舎別館)
☎ 84 - 4495
電話相談は 24 時間受け付けています

今月の新着図書

Newly-imported books

泣けないサボテン

なす かつら / 文
KINA / 絵



第6回「Be 絵本大賞」受賞作品。昔はトゲのなかったサボテン。でも、いじわるなことをされて、トゲがたくさん刺さってしまった。泣くことさえも我慢してしまう、けなげなサボテンのお話。

はじめてのプリキュアえほん おかたづけ
東堂いづみ / 原作 摘木葉枝芽 / 文
にあ・れい&ひろ・かねこ / 絵



きもちのいい、朝です。ようちえんに行く準備をしましょう。でもプリキュアたちのおうちは、ごちゃごちゃに、ちらかって…? プリキュアと一緒に学べるかわいい絵本!

図書館 情報



雄武町図書館 (雄武町栄町)
☎ 84 - 2404
10時~19時 (火~金曜日)
10時~18時 (土・日曜日)
休館日 月曜日・祝日
(火・日は 12時~13時まで施錠)

新着図書 (一般書)

タイで大の字 (小栗左多里&トニー・ラズロ)・山菜・野草の食いしん坊図鑑 (松本則行)・村岡花子エッセイ集 曲角のその先に (村岡花子)・書かすにはいられない (北村薫)・出好き、ネコ好き、私好き (林真理子)・女のいない男たち (村上春樹)・王朝小遊記 (諸田玲子)・バベル (福田和代)・猿の檻 (道尾秀介)・豆の上で眠る (湊かなえ)・二千七百の夏と冬 上・下 (荻原浩)・ビタースイートワルツ (小路幸也)・居眠り警音江戸双紙 46 弓張ノ月 (佐伯泰英)・しなやかな日本列島のつくりかた (藻谷浩介)・大晩年 (永六輔)

新着図書 (児童書)

がんばれルルロロシリーズ (あいほらひろゆき)・ながねぎきょうだい (中川ひろたか)・うまれたよ! シリーズ (小杉みのり)・かぼくとクレヨン (コンドウアキ)・ボクのじてんしゃ (きむらゆういち)・いしをつんだ男 (あきやまただし)・ノラネコぐんだんきしゃぼっぼ (工藤ノリコ)・イカになあれ (真珠まりこ)・はなかつぱとひのかつぱ (あきやまただし)・おばけやさん3 (おかべりか)・きらめき 12 星座 1~12 (奥沢しおり)・マジックアウト 1~3 (佐藤まどか)・たっくんのあさがお (西村友里)

今月のおすすめ情報

Recommended information of this month

読書強調月間事業「リサイクルブックフェア」開催中

保存期間を過ぎた雑誌や本、2000冊以上を無料で提供いたします。冊数制限はありません。お早めどうぞ!

場所 雄武町図書館
期間 9月30日(火)まで



昭和 26年7月16日、宵祭りの晩。屯田兵である厳格な父に連れられ、湧別町から裸一貫でこの地を訪れた。今でこそ市街地として栄える大通り商店街ではあるが、当時は殺伐とした更地が広がっていたという。その中にポツンとたたずむ「田原金物店」で、商人としての第一歩が始まった。「先代の田原のおやじから『人を頼るな』とよく怒られたよ。先代は厳しい人だね。怒られながら知識を覚えていった。でも自分で苦労して覚えた知識は絶対に忘れないんだ。辛抱する人生だったけど、今では先代に感謝しています。」

昭和58年、社長の座を譲られ、田原金物店は「茂手木金物店」として生まれ変わった。それから29年。「商売を続けていくことが難しくなった。高齢化や後継者の問題、何よりも大型店舗の進出に太刀打ちできなかった。」

もてぎ とよじ
茂手木 豊治さん (幸町)



本年3月、繁栄を誇った茂手木金物店は惜しまれながらも閉店した。変わりゆく商店街の姿にはかなさを感じながら、「田舎の商人として筋を通し、人情を大切に商売してきました」と真剣に語る姿は商人の鏡そのもの。「お店が閉店したのは寂しいけど、『毎度さん』って気軽に声を掛け合えるお客さまとの信頼関係は、これからも変わらず大事にしていきたい」。不屈の商人魂を見せてくれた。

Motto

座右の銘 ～常に心に留め、励ましや戒める言葉～

裸一貫、ある振りするな

Flesh Talk
フレッシュトーク

「大学 生のときに熱応用設計室に所属し、リユージュの競技用ソリの開発などをしていました。昔から機械を触るのが好きで、その延長線上に今の仕事があるんです。札幌市出身。北海道工業大学工学部在籍時に機械設計技術者の資格を取得。冬季五輪種目であるリユージュの研究をする傍ら、全日本学生リユージュ選手権大会には選手として自ら製作したソリを掲げて3位に入賞。現役時代は「自分でやってみないと物は作れない」をモットーに、氷上を駆け抜けていた。平成24年、エンジニアとして生きることを決意し、現在の会社に入社。昨年、千歳営業所から赴任し、現在は主に酪農機器の保守点検などメンテナンス業務を担当している。「雄武町に

来てから現場での仕事が増え、お客さまが身近に感じられるようになりまし。今は農家さんと話し合いを重ねながら、よりよいサービスの形を探しています。例えば、実態に即した自動搾乳ロボットの稼働を図るため、お客さまが蓄積された稼働状況データを基に今後の効率的な使用法を提供しています。今後の目標について「今は先輩に相談しながら機械の修理にあたることなのですが、将来的には自分でどんな機械でも直せるようになりたい。もっと現場での経験を積んで一生をかけて勉強をしていきたいと思っています」と話してくれた。

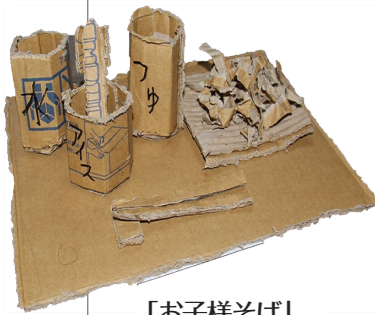
「どんな機械でも直せるようになりたい」



デラバル株式会社雄武営業所
さとう まこと
佐藤 誠さん (新町)

Kids

わんぱくキッズ (若草保育所) ～おおきくなったら～



「お子様そば」



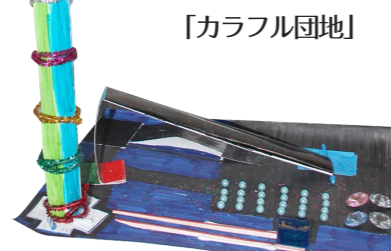
小林大也くん (3年)



「カラフル団地」



五十嵐美羽さん (5年)



「夜のパレード」



坂元拓斗くん (5年)



「森の遊びごや」



櫛山 菜さん (3年)

Art Museum

小さな美術館 ～雄武小学校～



いけだ まなと くん



かとう ゆうすけ くん



きむら なぎさ ちゃん

人口と世帯数 (8月31日現在) ※住民基本台帳人口

人 □ 4,789人(前月比22人減/前年比93人減)
 男 2,282人(前月比7人減/前年比37人減)
 女 2,507人(前月比15人減/前年比56人減)
 世帯数 2,310戸(前月比16戸減/前年比28戸減)

戸籍の窓口 (8月1日～8月31日届け出分) ※敬称略

☆こんにちは赤ちゃん(出生)

谷山 陽 (哲也・男/末広町2区)
 高野 司馬 (元気・知美/男/北幌内)
 磯田 巨陽 (昭次・麻美/男/新日の出町)
 龍野里音奈 (昇平・麻友里/女/東浜町)

♡未永くお幸せに(婚姻)

是川 千歳 (北幌内)・高見千恵子 (緑町)
 小松原達也 (新沢木)・鐵川 愛理 (末広町2区)
 嶋 務 (栄丘)・名達さやか (札幌市)
 亀田 健斗 (新沢木)・土田 笑子 (曙)

●お悔やみ申し上げます(死亡)

土田 洋子 72歳(栄町)
 重清 ハル 98歳(幸町)
 川目まさ子 78歳(魚田)

寄付 (7月26日～8月25日受付分) ※敬称略

◎香典返しを廃して金一封(社会福祉協議会へ)

中島 英明(共栄)
 蝦名 敏文(潮見町)

◎雄武町ふるさと応援寄付金

南野 哲夫(大阪市城東区)

名寄労働基準監督署紋別分室(労働条件に関する相談、労災加入)

9月29日(月) 13:00～17:15
 会場 紋別市港湾合同庁舎内

社会保険事務相談(事前予約制) ☎0157-33-6007

9月25日(木) 9:00～15:00
 会場 紋別市民会館

自動車運転免許更新講習

9月18日(木) 雄武町民センター
 優良運転者講習 12:30～13:00
 違反運転者講習 13:20～15:20
 ※事前に更新手続きが必要となります

役所への苦情、意見、相談 ☎84-3402

行政相談所 9月9日(火)13:30～15:30
 役場1階 町民ホール
 行政相談委員 近江谷 春夫(末広町2区)

今月の町税の納期

固定資産税(第3期) 国民健康保険税(第3期)
 口座振替日:9月29日(月)

イベントカレンダー

9月3日(日)	♡仲良し親子教室 10:00～
5日(金)	♡仲良し親子教室 10:30～
7日(日)	特定健診等健康診査(幌内歴史と生活の家)7:30～ ☆こどもまつり 9:45～
8日(月)	♡仲良し親子教室 10:00～
9日(火)	♡子育て応援講演会 19:00～
10日(水)	♡仲良し親子教室 10:00～
11日(木)	♡はじめてのお誕生会 10:00～ ☆一輪車検定 16:00～
12日(金)	♡仲良し親子教室(宮の森公園)10:00～
13日(土)	☆一輪車検定 10:00～ ☆けん玉検定 14:00～
16日(火)	♣運動教室 14:00～、18:30～
17日(水)	☆仲良し親子教室 10:00～
18日(木)	♡乳児健康相談 9:00～
19日(金)	♡仲良し親子教室 10:30～
20日(土)	移動児童館(幌内歴史と生活の家)10:00～ ☆サッカー教室 14:00～
22日(月)	♡仲良し親子教室 10:00～
24日(水)	♡仲良し親子教室 10:00～
25日(木)	♡読み聞かせフムフムの会 10:30～ ●乳幼児健康診査 12:30～ ☆けん玉検定 16:00～
26日(金)	☆仲良し親子教室 10:00～
27日(土)	☆卓球教室 14:00～ オムリンピック(スポーツセンター)8:30～
29日(月)	♡仲良し親子教室 10:00～
10月1日(火)	♡仲良し親子教室 10:00～
2日(水)	☆2歳児健康相談 9:00～

開催場所 ●役場 ♣町民センター ♡若草保育所・子育て支援センター ☆児童センター ♠地域交流センター

国保病院情報 (小児科と耳鼻咽喉科は、日程が急きょ変更する場合があります。)

内科(服部医師)	毎週月～水曜日の診療となりますが、15日(月)、23日(火)は祝日のため休診となります。
内科(高井医師)	毎週木・金曜日の診療となります。
外科・消化器科(花田医師)	不在の予定はありません。
整形外科(片岡医師)	16日(火)、17日(水)は終日不在となります。
小児科	毎週月曜日が1日診療、金曜日が午後のみ診療となりますが、15日(月)は祝日のため16日(火)が1日診療となります。
耳鼻咽喉科	18日(水)の14時～17時までの診療となります。

◎診療時間 8:30～12:00(受付11:30まで) 13:30～17:15(受付16:15まで)



9月の行事予定

1日(日)	前期末考査(～4日(日))
4日(水)	防災避難訓練
11日(火)	生徒会役員選挙
22日(月)	小高交流会
24日(水)	校内駅伝大会
26日(金)	終業式
29日(月)	学期間休業(～30日(火))

◎体育祭大成功

8月24日(日)、体育祭が行われました。生徒会執行部は、学校祭と同じように生徒自身が作り上げる体育祭を目指し、人数が限りある中で盛り上がるような競技を取り入れました。結果は、3年生が総合優勝しましたが、1年生が総合2位となるなど健闘が光りました。そして、勝敗以上の達成感やチームワークが高まりました。日曜日にもかかわらず多くの保護者の方にもご来校いただき、ご参加いただいたミニバレーも和気あいあいとした中で終了しました。

◎陸上競技部ボランティア

陸上競技部10名は、雄武町東浜で普段砂浜練習をしている海浜清掃を行いました。3時間かけて海岸のさまざまな漂流物やビン・ペットボトルなどビニール袋7袋分のゴミを拾いました。



◎吹奏楽コンクール銀賞

8月2日(土)、本校吹奏楽部は北見市民会館で行われた北海道吹奏楽コンクール北見支部大会において、高橋伸哉氏による委嘱作品「ノーザンパレット」を初演演奏し銀賞を受賞しました。演奏では、9名のアンサンブルのために書かれたオホーツクの青い空と海を表した、さわやかで温かい曲想を見事に表現しました。また、夏休み中も練習に励み、8月27日(火)に行われた高文連音楽発表大会に出場しました。10月13日(日)には、町民センターで定期演奏会が行われます。

◎高体連新人戦大会結果

陸上競技部(網走市 8月21日～23日) ~全道大会出場~

男子走り幅跳び	2位	大水 雅也
男子三段跳び	5位	大水 雅也
女子砲丸投げ	4位	古川 聡美
女子400mハードル	4位	中村 暢
女子800m	5位	工藤 愛梨

◆編集後記 Editor's note

▼8月24日、朝方から降り続いた大雨により、河川の氾濫などに伴う道路の冠水や損傷などの被害が発生しました。「災害は忘れたころにやってくる」。防災対策も去ることながら、忘災としてはいけないと強く感じました。(樫山)

▼今月号から、2号連続で「先駆者タチノ記憶」という特集を掲載します。今回は戦前から戦後まで、今回は現在の農業が抱える諸問題について掲載予定です。(落合)

オホーツク紋別空港ダイヤ(9月)

375便 羽田発 10:40 → 紋別着 12:25
 376便 紋別発 13:05 → 羽田着 14:55

無料空港送迎バス時刻表		お得な料金プラン	
紋別バスターミナル発	12:05	旅割75	15,500円～
紋別空港着	12:22	旅割60	15,100円～
紋別空港発	12:40	旅割45	15,700円～
紋別バスターミナル着	12:57	旅割28	17,800円～
		シニア空割	13,300円～
		スカイメイト	24,550円



※羽田空港施設利用料金290円(小児140円)が別途加算されます。

My Dream

私の夢

牛の気持ちを考えられる

立派な酪農家を目指したい

佐藤 優さん(さとう ゆう・末広町1区・雄武小6年)



小学1年生のときから、夏休みや冬休みの間は

風連にいるおじいちゃんの家で酪農のお手伝いをしています。

すごく大変だけど、かわいい子牛にミルクをあげたり、搾乳器をつけたりするのが面白いし大好きです。去年の夏休みには、牛の餌や草の種類をたくさん調べて酪農体験の自由研究を作りました。大きくなってもおじいちゃんとおばあちゃんの仕事を手伝いながら、牛の気持ちを考えられる立派な酪農家を目指したいと思います。

雄武町民憲章(町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会を作ります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定